

講義科目 : 社会福祉論Ⅱ	単位数 : 2
担当 : 田中 武士	学習形態 : 選択科目 社会福祉士必修科目

講義の内容・方法および到達目標

人々の現実の暮らしから「社会福祉とはなにか」について考えます。テキストの他に新聞記事や映像等も使い、現代社会のなかで懸命に生きる人々のあり様を丁寧にとらえていきたいと思えます。そしてそれらをもとに人間らしい生活とはなにかについて深く考え、行動する力を獲得すること目標とします。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション（授業内容の予定と評価の方法）
- 第2回 社会福祉とはなにか
- 第3回 雇用不安
- 第4回 育児不安
- 第5回 老後不安
- 第6回 教育の不利
- 第7回 いのちと健康の不利（健康格差）
- 第8回 いのちと健康の不利（健康の社会的決定要因）
- 第9回 参加の不利（孤立）
- 第10回 参加の不利（包摂）
- 第11回 市場経済への不信（貧困と格差）
- 第12回 市場経済への不信（福祉国家）
- 第13回 権力への不信
- 第14回 他者への不信
- 第15回 まとめ（社会福祉とはなにか）

※受講生の状況によって内容を変更することがある。

教材・テキスト・参考文献等

【教材・テキスト】

坪洋一, 金子充, 室田信一（2016）『問いからはじめる社会福祉学－不安・不利・不信に挑む』有斐閣.

他に適宜レジュメや資料も配布する。

【参考文献】

鶴幸一郎, 藤田孝典, 石川久展ら（2019）『福祉は誰のために－ソーシャルワークの未来図』へるす出版.

稲沢公一, 岩崎晋也（2019）『社会福祉をつかむ』有斐閣.

秋元美世編（2010）『リーディング日本の社会福祉 第5巻 社会福祉の権利と思想』日本図書センター.

成績評価方法

- ・ 授業への参加姿勢、毎授業終了後の小レポート（50%）
- ・ 定期試験（50%）
- ・ 討論と発表を重視し総合的に評価する。

その他

- ・ 授業を妨げる私語やスマートフォンの操作は厳禁。単位取得は容易ではないので受講登録にあたっては十分留意すること。
- ・ 主体的な姿勢での授業参加を求める。